

# 和地ひとみレポート No.3

小平・村山・大和衛生組合の

## 市民1人あたりのゴミの処理費用は約¥11,240/年

### ■ 一部事務組合の施設

…一部事務組合とは、複数の普通地方公共団体や特別区が、行政サービスの一部を共同で行うことを目的として設置する組織です。東大和市はゴミの処理を行うために東大和市、武蔵村山市、小平市の3市で構成されている「小平・村山・大和衛生組合」と東京都多摩地域の25市1町で構成される「東京たま広域資源循環組合」に加盟しています。先週、市議会議員18名で上記2つの一部事務組合の施設を視察しました。「小平・村山・大和衛生組合」の施設は東大和市駅南側の野火止用水浴いにある清掃工場(中間施設)、「東京たま広域資源循環組合」の施設は日の出町二ツ塚廃棄物広域処分場(最終施設)です。

### ■ 昨年の爆発事故による修理費は2000万円

…「小平・村山・大和衛生組合」の焼却施設では年に数回焼却炉内の爆発事故が起きています。爆発により壊れた焼却炉を修理するために昨年は約2000万円の費用が掛かっています。爆発の主な原因は「分別が不十分であること」「スプレー缶などに穴をあけて中身を出さない」などです。驚いたことに、焼却施設では作業員の方が手作業で中身を出していないスプレー缶に穴をあけて中身を出しています。修理費用だけではなくこの手間もコストです。一人一人がきちんとゴミを処理すればまだまだコスト削減は可能だと実感しました。

…この施設に集められた可燃ごみは焼却処理し焼却灰を最終処分場へ、不燃ごみは破碎選別し破碎可燃物は、焼却処理し焼却灰を最終処分場へ、不燃物は最終処分

場に運ばれます。「粗大ごみ」はリサイクルできる物は専門業者に引き渡し、その他は破碎選別し、破碎不燃物と破碎可燃物に分け処理をして、最終処分場へ運搬されます。ごみ1kgを粉碎、焼却などする費用は約18円。年間一人平均246kgのごみを出していることになるそうです。この施設の対象となる3市の市民数は33万8000人。一人ひとりが年間1kgごみを削減しただけで600万円以上のコスト削減になります。

### ■ 意識の高まりの効果も。今こそ循環型社会へ

…日の出町にある最終処分場は「焼却灰をセメント化」する施設です。ゴミの焼却灰をエコセメントとし再利用しています。H12年には焼却灰85,000m<sup>3</sup>、不燃ごみ74,000m<sup>3</sup>を最終処分(埋立)していましたが、エコセメント化のためにH21には焼却灰の処理は0に、また意識の高まりのおかげで不燃ごみの量は4,000m<sup>3</sup>に減ったとのことです。そのため、埋立地を含むこの施設は当初予定より30年は延命できると予想されています。

…平成12年に循環型社会形成推進基本法において考え方が導入された3R。Reduce(リデュース):減らす、Reuse(リユース):繰り返し使う、Recycle(リサイクル)再資源化はエネルギーについて考えなおされている今



こそ、再度一人一人が意識することで、ゴミの削減、そしてエネルギーとコストの削減ができる

実感しました。

エコセメント商品には「エコタロー」が刻印されます

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート

「身近なようで知らなかった市政、議会。伝えることがスタートだと思います。」



東大和市 市議会議員  
**和地 ひとみ**

【プロフィール】1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。/「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケット「つるかめランド」等を経営)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。/『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後もベンチャー企業を選び不動産投資会社に勤務。/同じビジネス界出身の加藤公一代議士との出会いに触発され、政治への道を志して2010年末に退社。現在、東大和市議会議員1年生として、日々、奮闘中。

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所

✉ wachi\_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546  
〒207-0003 東大和市狭山2-864-3-202